

新庁舎整備に向けた検討状況について

1. 品川区新総合庁舎 基本設計概要 区民向け説明（オープンハウス方式）の開催結果について

令和5年6月より着手した基本設計が令和6年5月に完了したことに伴い、基本設計の概要を区民へ広く周知することを目的に、オープンハウス方式で説明を行った。

- (1) 期 間 令和6年8月19日（月）～9月1日（日）（期間中6日間、区内6か所）
- (2) 来場者数 548名（チラシ配布数より）
- (3) 基本設計概要への意見一覧（別紙参照）

- ①8月16日～9月1日に区内6か所でのオープンハウスでのアンケート 56件
- ②8月～9月のあいだに電子申請フォームでいただいたご意見 11件

【主な意見】

- ・新庁舎にはカフェや食堂は入るのか
- ・ベビーケアルーム、キッズスペース等を設けてほしい
- ・区民交流スペースの活用方法はどうなっているのか
- ・環境、防災に力を入れてほしい

2. 今後の予定

- 令和6年11月15日 第247回東京都都市計画審議会
- 令和6年12月 都市計画決定・告示（予定）
- 令和7年3月 地区計画条例化（予定）

品川区新総合庁舎 基本設計概要区民向け説明(オープンハウス方式) いただいたご意見一覧

オープンハウス実施期間： 令和 6 年 8 月 16 日(月)～9 月 1 日(日) (期間中 6 日間、区内 6 か所)

来 場 者 数： 548 名

意 見 募 集 期 間： ①オープンハウスでのアンケート (8 月 16 日～9 月 1 日) 56 名

②電子申請フォーム (8 月～9 月) 11 名

No.	区分	ご意見の趣旨	区の考え方
1	配置計画	しながわ中央公園方面から新庁舎に段差なく行ける道路を早期に造ってほしい。	大崎・しながわ中央公園方面から新庁舎までの最短経路である区画道路1号は、現庁舎がある位置を通る計画であるため、新庁舎への移転・現庁舎解体後に整備されます。
2		大崎駅西口から庁舎に向かう坂をできるだけ上らずに庁舎に入れる道を作ってほしい。第二庁舎の駐車場から入れる道など。	
3		区庁舎は本来、大井町駅近くに建てたほうが、区民の利便性にはよい。緑化計画が弱い。	新庁舎の敷地は、災害時におけるしながわ中央公園との連携や、広場1号と合わせたにぎわいの形成を考慮した位置として計画しています。緑化計画の拡充については、引き続き検討を進めます。
4		新庁舎は現在の計画よりもっと大井町駅の近くに建設はできないのか。	
5		以前に比べ利便性が良くなることに期待している。	大井町駅から雨に濡れずに通行可能な、段差のない歩行者専用通路を整備し、区民の皆様の利便性に配慮した計画とします。一つのフロアに全部署を集約することは困難ですが、用件がスムーズに済ませられるよう検討を進めます。
6		大井町駅から直接新庁舎へいけるとよい。1つのフロアに全部の部署があるとよい。	
7		JR・東急大井町駅の西口、東口付近が混雑しているので今回の計画で解消できるとよい。	
8		大井町駅からのアクセスが良くなるとは言え、現在区役所に行くときは車が自転車なので駐車できる台数が少なそうに感じ不安である。次の機会があれば、JRの建物も合同で説明を聞きたい。	駐輪場台数は約500台、駐車場台数は約150台を整備します。今後も随時情報をお知らせしていくとともに、新庁舎の計画については、区民の皆様への説明の機会も検討していきます。
9		大崎・五反田方面からの区民のことを考慮し、補助163号線から区画道路1号に左折した車の入場方法を検討してほしい。	安全性等を考慮しながら、今後も引き続き交通管理者と協議してまいります。
10		大井町駅から区役所までは【自転車専用レーン】は整備されているのか。より高度な自転車-自動車分離を考えてほしい。	区役所通り（補助26号線）には自転車の安全な通行を促すための「自転車ナビマーク」が整備されており、今回整備される区画道路にも「自転車ナビマーク」が整備されます。
11	平面計画	吹き抜け階段は雨でも利用可能か。また、執務スペース内の倉庫は十分ないと、現状と同様、通路に物が置かれるようになると思う。	吹き抜け階段には屋根がかかっています。物品等で来庁者の動線が妨げられないよう、倉庫は適切に計画してまいります。
12		品川区外からの方が区役所の展望施設から品川を楽しめる様にしてほしい。区役所で食事が気軽にできるようにしてほしい。高齢者でも使いやすいように十分配慮してほしい。	最上階には広場を設ける予定です。また、低層部にカフェの設置を計画しています。「誰にでもやさしく便利で機能性にあふれた庁舎」を実現するために、令和6年1月に策定した「アクセシビリティ整備の手引き」をもとに使いやすい庁舎整備に努めてまいります。
13		喫煙所を必ず作ってほしい。また、子ども食堂や現在の屋上の機能を持たせてほしい。	喫煙所の設置については引き続き検討を進めます。また、低層部にカフェ、屋上には広場を設け、緑化を図る予定です。
14		現状、それぞれの執務室に行くと、カウンターでしか職員と話ができないため、執務室のある階に、半クローズドの打ち合わせスペースを設けてほしい。対面で行う意味や価値を上げられるような庁舎になると良い。	個別の相談ブースや打合せスペースを設けます。

No.	区分	ご意見の趣旨	区の考え方
15	平面計画	議会フロアの党控室には事務局を通らないといけない間取りになっており、区民の声が届けにくい仕組みになっている。間取りの再検討を希望する。	議会フロアについては、他自治体の最近の事例と同様に、セキュリティを考慮した計画としています。
16	庁舎機能	大井町駅から新庁舎の間を雨に濡れずに行き来できるのは良い計画だと思う。くつろぎのスペース（カフェテリア・区民食堂・こども食堂など）は計画されているか。災害時（南海トラフなど）に広域避難場所となるエリアはあるか。	新庁舎にはカフェの設置を計画しており、区民の方が憩うことができる空間を整備します。広域避難場所については、東京都にて定期的に見直しがされており、時期による土地の利用形態の変遷や見込みについては東京都と情報共有を図っています。
17		区民食堂を設置してほしい。憩いのスペースがほしい。夜間の開放は行うのか。	新庁舎にはカフェの設置を計画しており、区民の方が憩うことができる空間を整備します。庁舎全体を夜間に開放する予定はありませんが、低層部の区民交流スペースの開放時間など引き続き検討してまいります。
18		障害者就労カフェをぜひ実現してほしい。地元の食堂やカフェと障害者就労カフェのコラボとか、そこで一部スペースに障害者の方が作った雑貨の販売などするとよいのでは。音が苦手な人もいるので低層部と屋上に2か所設けたり、筆談対応なども視野に入れてほしい。	障害者就労カフェの運営方法については、引き続き検討を進めます。設置位置については、人通りの多い低層部に計画しています。
19		新庁舎のコンセプトは良いと思う。区民交流スペースが使いやすそう。複数個所に配置されているのでいろいろな用途で使えるのではないか。りんかい線の上部分も工夫して、活用している。2Fに保健センターを入れて、感染症対策、危機管理機能に配慮した計画だと思う。	区民交流スペースは区民の皆様に使いやすい協働・交流の場として計画を進めてまいります。
20		区民が利用できるようなカフェ、食堂があるといい。今建てているのは庁舎なのか。	新庁舎にはカフェの設置を計画しており、区民の方が憩うことができる空間を整備します。広町地区内で現在（令和6年度）建設中の建物は、JR東日本の施設です。
21		区民が利用もしくは貸し出し可能なスポーツ施設や図書館、カフェが整備されるとよい。	新庁舎にはカフェの設置を計画しており、区民の方が憩うことができる空間を整備しているほか、区民交流スペースについては、運用面なども含め検討を進めます。
22		区民交流スペースには、区民の文化活動施設としての中心（防音が整った空間。オーケストラ、吹奏楽など）があると今後の区民の音楽活動の発展になる。	区民交流スペースについては、運用面なども含め今後も検討を進めます。
23		文化施設がないのが残念。	新庁舎における文化的機能としては、最上階のギャラリーや、低層階の区民交流スペースなどを計画しています。
24		最上階にはレストランやフードコートを整備するのが良いと思う。電力は再生可能エネルギーを積極的に活用してほしい。	最上階は広場やギャラリーなどの設置を計画しています。また、品川区では区有施設で使用する電気を、再生可能エネルギー由来100%の電力に切り替えることで、脱炭素の推進を図っています。新庁舎においてもこの取り組みを引き続き実施する予定です。
25		リフレッシュスペース・区民交流スペースで喫茶はできるのか。今まではあった都税事務所はあるのか。	リフレッシュスペースとは、職員が休憩時に使用する場所です。また、低層部の区民交流スペースにカフェを設置する計画としています。区以外の執務フロアの具体的な機能については、引き続き関係機関と協議しております。

No.	区分	ご意見の趣旨	区の考え方
26	庁舎機能	区民が来庁しやすい開かれた場所を目指すというのがとても印象的だった。区民交流スペースが多く配置されたり、打ち合わせスペースが用意されたり、役所という固いイメージでなく、足を運びやすい環境になると感じた。 また、環境に配慮し、ひさしや風通しを良くする吹き抜け・太陽光パネルなども検討されており、環境にやさしく過ごしやすい環境をどちらも両立できるのは良い計画だと思う。新庁舎の完成が楽しみ。	オープンで多様な協働・交流の場として区民交流スペースを設けたり、高い環境性能を備えた庁舎とするなど、新庁舎としてのコンセプト「WISH」の実現に向け計画を進めてまいります。
27		区民交流スペースと行政機能とのバランスをうまくとってほしい。	ご意見を今後の検討に活かしてまいります。
28		現在の庁舎にあるような形の講堂は設けないとのことだが会議室を使うことで足りるのか。	区民交流スペースの一部で大会議室（講堂機能）に対応できる計画としています。
29		授乳スペースやキッズスペースなど、子供と気軽に訪問しやすい場所にしてほしい。イベントスペースを整備し、ソフト的な取り組みも推進してほしい。高層フロアには電車（大井町線）が見える展望スペースを計画してほしい。 店舗を低層階に設け、障害者雇用の場を設けたほうがよいのでは。	授乳スペースやキッズスペースの設置を計画しています。イベント利用が想定される場所については、3階に広場を設ける計画としています。最上階にも広場を設ける予定です。 また、低層部には障害者就労カフェの設置を計画しています。
30		賑わいが乏しい感じがするため、工夫いただきたい。	広場3号と区民交流スペース等の活用でにぎわいをより創出できるよう、運用面でも検討を進めます。
31		現在のベビーケアルームは非常に使いづらいため、新庁舎になった際には広々と落ち着けるスペースがあると良い。	ベビーケアルームは広さや設置場所に配慮して計画してまいります。
32		子連れで行く時に授乳やオムツ替えの場所が少なく、移動も大変なので子ども向けの施設（キッズスペース等）を増やしてほしい。駐輪場は現在の庁舎と同等以上の規模はほしい。	授乳スペースやキッズスペースの設置を計画しています。 駐輪場は現庁舎と同等の規模（約500台）を整備します。
33		現在の品川区役所付近にはランチに利用できるお店が少ないので、カフェやファストフードなどの店舗を入れて欲しい。	新庁舎では低層部にカフェの設置を計画をしています。
34		新庁舎には図書館の機能を導入してほしい。	図書館の機能は、新庁舎に設ける予定はありません。
35		図書館の機能を拡充してほしい。	
36	デザイン	外観、内装について「品川区らしさ」とはどのようなことか、それを対話で突き詰め、その上で、デザインとして落とし込み、発信してほしい。区民交流スペースをどう演出するかが重要。品川区に住んでいる区民だけでなく、他の地域を知った方からの意見が入るようにしてほしい。	外装、内装、区民交流スペースの詳細や、その情報発信の際には「品川区らしさ」が伝わるよう努めてまいります。今後より一層の検討を進めてまいります。
37	防災計画	建設中の地震等の災害発生時の対応について周知いただきたい。 大井町駅周辺が交通のボトルネックになっているので解消できるとよい。	広域避難場所については、東京都にて定期的に見直しがされており、時期による土地の利用形態の変遷や見込みについては東京都と情報共有を図っています。 大井町駅周辺の交通計画については、今後も引き続き関係者と協議してまいります。
38		大井町駅から新庁舎がつながるところが良かった。防災にも力を入れていて8日間ノンストップで対応いただけるので良いことだと思う。	新庁舎は、災害等で電気・給排水等インフラが途絶しても防災指令拠点として7日間は機能維持できるよう計画しています。
39		誇れるような建物にしてほしい。防災に優れた計画としてほしい。費用ばかり安いものを目指すことはない。	

No.	区分	ご意見の趣旨	区の考え方
40	防災計画	大震災時、区民緊急救済センターの機能がどの様に備えられているのか。 スマートシティーの構想、取り組みは如何か。 I OWNの取り組みはどの様な方針になっているのか。	新庁舎は震災時に災害指令拠点としての機能を担うことを想定しています。 ICTなどの活用については引き続き検討してまいります。
41	環境計画	来庁者用の電気自動車の普通充電設備を設けてほしい。 太陽光パネルの有効活用、庁有車の電気自動車化を進め、環境性能を向上させてほしい。	来庁者用の電気自動車充電設備を設ける予定です。 太陽光パネルの活用、庁有車の電気自動車化なども引き続き進めていく予定です。
42		緑地の整備をもっと推進すべき。	緑化計画については各種基準、法令を遵守して検討を進めます。
43		新庁舎には障害者雇用の場は設けているのか。 ヒートアイランド対策はどのように検討しているのか。	区民交流スペースの一部に障害者就労カフェを計画しております。 舗装材やデッキ・屋上の緑化等、ヒートアイランド対策には十分配慮いたします。
44		新庁舎の省エネ目標がNearly ZEBであることは、竣工時にはすでに陳腐化するレベルであり、少なくとも現況ドイツの環境建築レベルとすることが国策に叶う基準と考えるべき。	新庁舎は、ZEB Ready認証取得を計画しており、運用段階においても省エネにつながるよう努めてまいります。
45	区民サービス	電子化が進む昨今だが、高齢者にもわかりやすい計画を期待している。	サイン計画も含め、わかりやすい施設配置とするよう努めてまいります。
46		一か所の窓口で手続きが済ませられるとよい。	ワンストップ窓口やワンフロアで用件が済む対応について、引き続き検討を進めます。
47	事業費等	新庁舎は現庁舎より床面積が増えているが、計画を縮小し予算を国民健康保険事業や若者・家族形成期の方たちへのバックアップへ充ててほしい。	施設規模については、現庁舎機能の移転を前提に、保健センター機能や区民交流スペースを考慮して設定しています。
48		公共事業とPFIを比較して公共のほうがメリットありとした根拠資料を公開してほしい。 DXやITサービスが拡充する中、窓口業務は低減される。住民的には来庁の機会も減ることが予想される中、広い窓口は必要なのか。 職員一人当たりの面積（他自治体と比較）は。	従来方式(公共事業)については「品川区新庁舎整備基本計画」において、早期の事業着手、区民や区の意向反映、区内経済の活性化等の点から評価しました。 窓口については、DX推進などの観点も交え検討を進めます。 職員一人当たりの面積は、執務以外の使用もあり、またその区分等は各自治体さまざまであることから他自治体との比較は困難ですが、可変性に配慮した計画としています。
49		区民の負担となるような新庁舎にはしないほしい。	今後の市況の動向に影響されますが、災害対応の拠点機能や行政機能等は維持しながら、建物に求める安全性の精査等を図り、適切な事業費については引き続き検討を進めてまいります。
50		物価がかなり上昇しているが、当初予算で完成させるようにしてほしい。	
51		その他	帰宅困難者が滞留できるスペースも用意されているとのことだったが、一步踏み込んで、現庁舎の跡地にアリーナを建築して災害時はそこを避難所にするようにしたほうが良いと思う。 新庁舎の環境性能はNearly ZEBを目指すと言いき、新時代の建物としてふさわしいと感じた。
52	電波障害が発生した場合は、どのように対応するのか。		新庁舎建物の原因となって生じる電波障害については対策を行い、視聴に影響がないようにします。
53	オープンハウス方式という言葉は分かりづらいので、日本語にするべき。		皆様により分かりやすく伝わるよう、努めてまいります。

No.	区分	ご意見の趣旨	区の考え方
54	その他	B-2地区の開発にも期待している。	ご意見を今後の検討に活かしてまいります。
55		方針を理解しました。	
56		素敵な構図で楽しみ。	
57		わかりづらかったが、説明されて何となく理解した。楽しみにしている。	
58		新庁舎の建築を楽しみにしている。	
59		区民の交流スペースがあるとのことで、完成が楽しみ。 若者も利用しやすい雰囲気があればうれしく思う。	
60		防災無線が聞き取りづらいので聞き取れるようにしてほしい。	
61		使いやすい新庁舎を整備してほしい。	
62		区民が気持ちよく利用できるようなとうれしい。	
63		他区の新庁舎がどんどん計画・完成しているので良い所取りで進めてほしい。品川区は子育て支援に力を入れているが、逆に高齢者支援が手薄なので対策に力を入れてほしい。	
64		大変立派な新庁舎を整備され本当にありがとう。	
65		親切な説明受けありがとう。品川区民として新庁舎が楽しみ。みなさまご多忙中ご自愛を。	
66		次の情報を楽しみにしている。	
67	より利用しやすくなるのがうれしい。バス停が近くなるので助かる。		